

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策等研究事業）
分担研究報告書

副腎偶発腫に関する研究

研究分担者 上芝元 東邦大学 医学部・教授

研究要旨

H26年～28年に行った副腎偶発腫の長期予後調査の継続的解析を行い、コンセンサステートメントの作成を開始した。

A. 研究目的

副腎偶発腫についての国内外のエビデンスを収集しコンセンサステートメントを作成することを目的とする。

副腎偶発腫に関して着実な成果が得られた。さらに診療ガイドライン作成に向けCQ作成中である。

B. 研究方法

本研究班で平成26年～28年に行った副腎偶発腫の長期予後調査のデータを使用する。日本泌尿器科学会、日本内分泌外科学会、日本内分泌学会と連携し、国内外のエビデンスを収集したうえでコンセンサステートメントを作成する。

F. 健康危険情報

なし

C. 研究結果

日本内分泌学会の臨床重要課題に採択され、コンセンサステートメントの作成を開始した。

G. 研究発表

1. 論文発表

上芝元 副腎偶発腫 *medicina*
58(9):1446-1449, 2021

Ueshiba H. Adrenal incidentaloma in
Japan. *Toho J Med* 7(3):99-103, 2021

2. 学会発表

一城貴政, 上芝元 副腎偶発腫瘍のマネージメント 第94回日本内分泌学会学術総会 2021年4月22日-24日

上芝元 副腎偶発腫瘍の診断と管理 第23回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会 2022年9月9日-10日

D. 考察

日本泌尿器科学会、日本内分泌外科学会、日本内分泌学会と連携し、各学会からの見解が矛盾なく一致するよう、コンセンサステートメントの作成を開始した。

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

E. 結論

2. 実用新案登録
なし

3. その他
なし